
公益社団法人 大阪府工業協会

2023年度 事業計画書

自) 2023年4月1日 ~ 至) 2024年3月31日

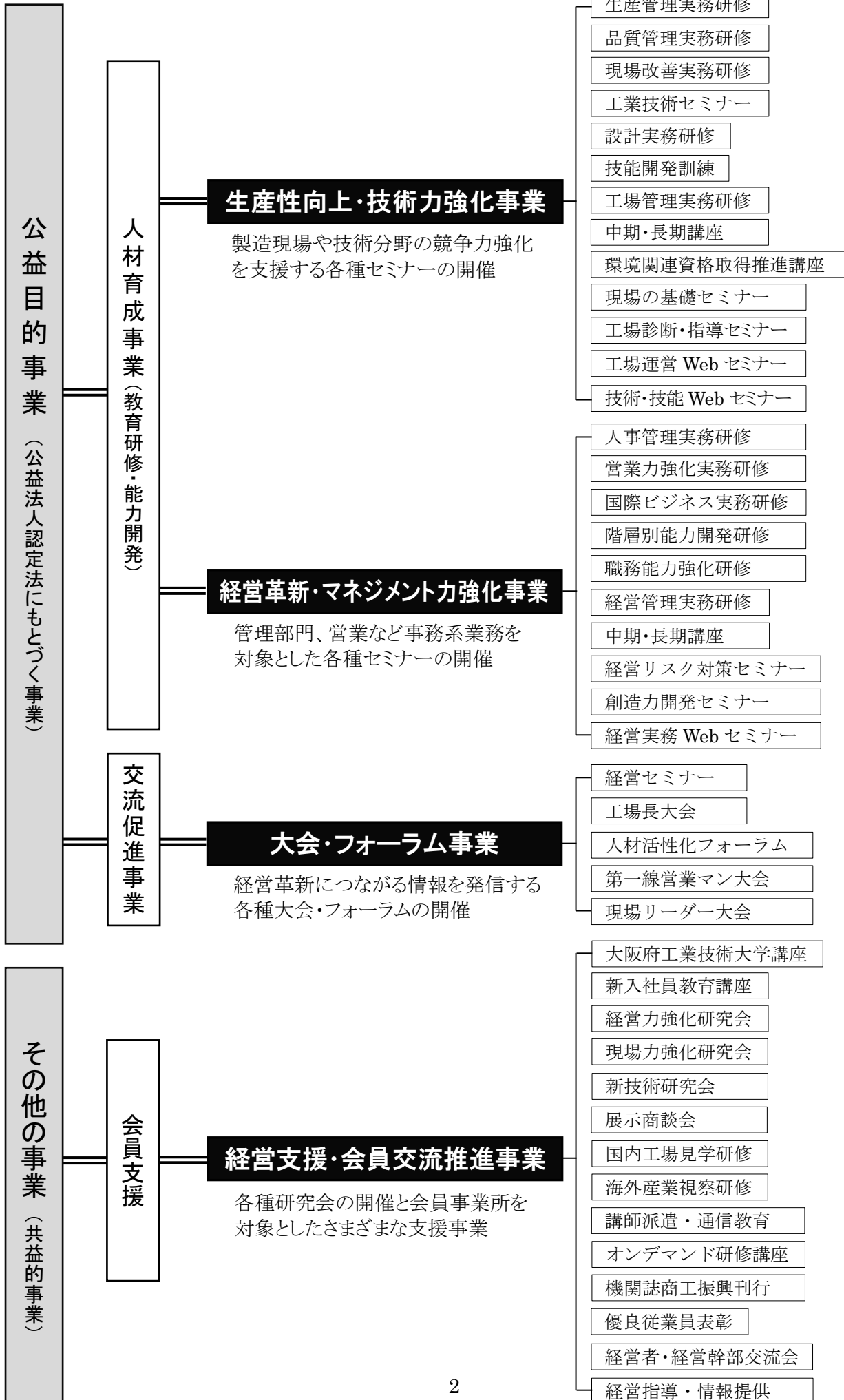
世界を揺るがしたコロナ禍は3年を超え、いまやどの国でも行動制限はほぼ撤廃され「コロナとの共生」の時代に入った。わが国においても感染症の位置づけを5類に移行することが決まり、感染対策と社会経済活動の正常化の両立を目指す方針に舵を切った。しかし、経済活動の正常化に向けた先行きは未だ不透明な状況にある。加えて2022年度から続くインフレ傾向、原材料やエネルギー資源の価格高騰、国際紛争を背景としたサプライチェーンの断絶など、企業を取り巻く環境は依然として厳しい。今後も経営の舵取りには難しい判断が求められることになろう。

このような状況下、企業が競争力を維持していくためには、事業活動を担う個人個人の競争力向上、すなわち実務スキルや変化への対応力を高めていくことが欠かせない。政府も「リスクリングの支援に5年で1兆円を投じる」と表明し、さまざまな助成制度を打ち出そうとしている。人材育成の重要性はより増してきていると言える。当協会では、基幹事業である「人づくり」につながる研修事業において、既存テーマやプログラムの見直しを進めることで、時代のニーズに即したラインナップを充実させ、製造業の基盤強化および生産性向上を後押しする。また、“ニューノーマル”の働き方に対応した受講環境整備も継続し、いつでも、どこでも、何度でも学べる「オンデマンド研修」の拡充や、「オンライン研修」において競争力の高い技術・生産系コンテンツへの注力などを進める。「集合型研修」に関しても、長期研修の見直しや、実習・演習プログラムの拡大など、ニーズに即した協会活動を展開していく。

事業のもう一つの柱である「研究会活動・企業間交流」については、参加者の多様な要望に応え、今年度は「製造部門人材育成」「広報活動」の2つのテーマで新たに研究会を立ちあげる。また、販路開拓のきっかけとなる「展示商談会」や、現場・現物で他社の事例に学ぶ「工場見学」なども新たな工夫を加えながら従来の姿に戻していく。とりわけ、コロナ禍のもとで実施を控えてきた企業間の交流・懇親の場を再生する。業界や規模の異なる企業が集い、互いを知る機会を設けることで、協会会員ならではのメリットを提供していく。

具体的には、以下に示す計画にもとづき、人材育成も交流事業も企業の需要に応え、これまで以上に活発な事業活動を推進していく方針である。

【公益社団法人 大阪府工業協会 事業体系】



2023年度 事業計画

大阪府工業協会では、提供する事業について対面式とオンライン形式、そしてオンデマンド形式を並行して開講している。2023 年度についても、適切なテーマを選定し事業を実施していくことで、さまざまな受講者のニーズに応じていく。

1 生産性向上・技術力強化事業

高品質な製品づくりはもちろんのこと、生産性のさらなる向上、変種変量・短納期といった市場ニーズへの柔軟な対応など製造企業における課題は山積している。また、技術や技能にさらに磨きをかけるとともに、イノベーションにより新たな価値を創造していくことも必要である。

本事業では、現場力を高める管理・改善の実践手法から、製品設計、生産技術、切削などの加工技術、機械の保全や環境技術にいたるまで、対象を細分化し、幅広いテーマを設定。技術水準の高度化、製造・技術人材の育成に注力していく。

1-1 生産管理実務研修

売れるものを売れる時期に売れるだけ作るというのが企業の命題である。そのために必要な生産管理手法（生産計画、工程管理、在庫管理など）について学ぶ。

- [テーマ例]
- ・ Excel を使った原価計算のやり方
 - ・ 在庫の現品管理基礎セミナー
 - ・ 工程管理の基礎知識
 - ・ Excel 在庫管理表 作り方、使い方
 - ・ 小日程計画の立て方
 - ・ 調達購買力強化研修 など

1-2 品質管理実務研修

品質は企業の信頼や競争力を左右する重要なテーマである。不良品の発生を抑え、また、発生しても外に出さない仕組みづくりが不可欠であり、そのために必要な技術・手法を学ぶ。

- [テーマ例]
- ・ 検査員の基礎実務
 - ・ ISO9001 内部監査員養成講座
 - ・ 外注部品の品質管理
 - ・ 品質トラブル 未然防止の具体策
 - ・ 外観目視検査 正しい進め方とレベル向上策 など

1-3 現場改善実務研修

過剰な在庫、作業の手待ち、装置のチョコ停など、現場に潜在するムダを徹底的に排除し、生産性を高めるためのさまざまな改善手法を学ぶ。

- [テーマ例]
- ・ 現場改善の実践 10 の具体策
 - ・ 工場「少人化」の実践
 - ・ 作業エリアのレイアウト改善
 - ・ 5S 活動 レベルアップ研修
 - ・ 製造現場 手待ちのムダ取り
 - ・ 段取り改善の進め方 など

1-4 工業技術セミナー

機械や電気など生産技術に関する知識、金属や樹脂材料に関する知識、切削や溶接をはじめとする金属加工の知識など、あらゆる工業製品の製造に関わる技術テーマを網羅的に取りあげる。

- [テーマ例]
- ・ 電気系トラブルの診断方法
 - ・ 浸炭熱処理の基礎技術
 - ・ 機械加工技術（切削、研削など）
 - ・ 電気・電子回路図 正しい読み方
 - ・ 『金属材料』の基礎知識
 - ・ 機械設備の日常保全 など

1-5 設計実務研修

設計は製品の品質やコストを決定づけるため、それを担う技術者のスキルアップは欠かせない。JIS規格に準じた図面の描き方、設計変更、強度設計などさまざまなテーマを取りあげる。

- [テーマ例]
- ・図面の基礎（描き方、寸法公差）
 - ・機械加工治具 設計のポイント
 - ・図面チェックの進め方
 - ・設計変更のチェックポイント
 - ・設計部門 若手リーダー研修
 - ・強度設計のための基礎知識 など

1-6 技能開発訓練

知識を習得するだけではなく、実際の現場での技能を身につける研修を開催。研修施設を持つ企業との提携や、実習機材を用いるなどして技能訓練を行い現場作業者のレベルアップを図る。

- [テーマ例]
- ・電気の基礎
 - ・溶接技術者訓練講座
 - ・ラズベリーパイを使ったIoTツール制作
 - ・シーケンス制御 実践セミナー など

1-7 工場管理実務研修

工場の管理・改善に必要な実務テーマを相互に関連づけ、実務者やリーダークラス、管理者までのスキルアップ研修。幅広い知識を学ぶことで、実務力の向上を図る。

- [テーマ例]
- ・よくわかる製造原価のつかみ方
 - ・物流（倉庫）作業 標準化への挑戦
 - ・工場長の視座と経営革新の指揮
 - ・設備の簡易診断と対策のポイント
 - ・工場で実践するはじめてのチームマネジメント など

1-8 中期・長期講座

主に製造・設計・品質管理などの技術部門の方を対象として、ひとつのテーマを複数回の講義で掘り下げ学んでいく。体系的に構成されたプログラムで、実務力の向上を図る。

- [テーマ例]
- ・現場改善 実践研修コース
 - ・生産管理基礎講座
 - ・品質管理 実務研修
 - ・機械設計技術基礎講座
 - ・機械・設備保全基礎力強化コース など

1-9 環境関連資格取得推進講座

環境関連の国家資格の取得を支援するための試験対策講座。公害防止管理者試験などの国家資格を想定する。

1-10 現場の基礎セミナー

製造現場の若手や新入社員を対象とし、現場における基礎的な知識や技術、仕事の進め方など、幅広いテーマで開催する。

1-11 工場診断・指導セミナー

企業の製造現場にコンサルタントを派遣し、基本的な考え方や改善すべき点などを具体的に指導することで、現場力向上に役立てていただく。

1-12 工場運営 Web セミナー

工場の運営に必須である生産管理や品質管理、現場改善の基本に関するテーマを幅広く取りあげ、セミナー形式で Web 発信する。

1-13 技術・技能 Web セミナー

切削加工や溶接、塗装作業や機械の操作方法は、セミナーだけでは伝わりにくいテクニックやノウハウが多くある。そこで、実際の作業を行っている動画を Web 配信し、作業の効率化や技能の向上に役立てていただく。

2 経営革新・マネジメント力強化事業

企業の持続的発展のためには、限られた経営資源（ヒト・モノ・カネ）をいかに活用し、パフォーマンスを高めていくかが大きな課題である。日本の人口は減少の一途を辿り、国内需要の縮小は避けられず、労働力確保の難しさもこれから深刻化してくる。飽和状態にある市場では受注獲得に向けた競争もますます激しくなり、収益を確保していくには営業力強化とともに経営管理体制の充実も欠かせない。また、成長市場を求めて海外へ打って出ることも必要になってくる。

こうした経営上の課題に対処していく人材の育成、能力開発が本事業の目指すところである。テーマは幅広く、経理および経営管理、人事労務管理、営業戦略、グローバル化対応、さらには従業員個々のスキルアップまでもが含まれる。個別の職務や階層に合わせた研修講座、セミナーを開催することにより、生き残りをかけて経営革新に取り組もうとする企業を支援していく。

2-1 人事管理実務研修

労働関係法令の理解を促し、各種手続き業務をはじめ、従業員の採用や人事考課、賃金、処遇など、人事労務に関するテーマを全般的に取りあげる。

- [テーマ例]
- ・面談・人事評価の進め方
 - ・コンプライアンス研修
 - ・賃金制度 再設計の進め方
 - ・年末調整の実務
 - ・人事労務担当者、管理者のための労務トラブル対策 など

2-2 営業強化実務研修

基本的な営業マナーや商談・交渉スキルといったすべての営業社員に必要な能力と、管理職として組織をまとめるマネジメントスキルなど、階層ごとに求められる能力を習得する。

- [テーマ例]
- ・経営幹部の営業戦略
 - ・「展示会」で成果をあげる営業のやり方
 - ・営業トークの基本と実践
 - ・顧客目線で作る 販促ツール・カタログ
 - ・営業マンのためのすぐやる「与信管理」基礎研修 など

2-3 国際ビジネス実務研修

事業のグローバル化対応のためのセミナーを開催。経営者層には意思決定や戦略立案につながるテーマを、実務者向けには貿易書類の作成、法律知識などのテーマを取りあげる。

- [テーマ例]
- ・海外営業部門のための貿易の基礎知識
 - ・輸出入通関手続きの基本 など

2-4 階層別能力開発研修

経営目標の達成に向けた各自の責任・役割の自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を整理する。立場に応じた職責を全うするための要諦を演習やグループ討議を通じて指導する。

- [テーマ例]
- ・取締役・執行役員 心得ておくべき原則
 - ・部長／課長／係長／主任研修
 - ・若手社員研修 など

2-5 職務能力強化研修

労働生産性の向上は直接部門だけの問題ではなく、今後は間接部門でも取り組むべき課題である。総務部門や経理部門など、ホワイトカラー向けの研修を開催する。

- [テーマ例]
- ・チームマネジメントの実践
 - ・日常業務のスピードアップ術
 - ・タイムマネジメント実践セミナー
 - ・仕事の任せ方 など

2-6 経営管理実務研修

経営管理機能の強化を目指して、経営者・経営幹部・管理スタッフを対象に、具体的な実務課題を取り扱った研修を開催する。

- [テーマ例]
- ・損益分岐点分析活用セミナー
 - ・決算書の読み方
 - ・経理担当者の基礎実務
 - ・総務担当者の年間業務カレンダー
 - ・非上場会社の「会社法」基礎実務
 - ・契約書の読み方、書き方
 - ・情報システム担当者の基礎知識とスキル など

2-7 中期・長期講座

主にホワイトカラーの方を対象として、ひとつのテーマを複数回の講義で掘り下げ学んでいく。体系的に構成されたプログラムで、実務力の向上を図る。

- [テーマ例]
- ・はじめて学ぶ経理の仕事
 - ・人事労務管理基礎コース
 - ・営業社員基礎力強化6ステップ など

2-8 経営リスク対策セミナー

情報提供の一環として、人材に関する課題・悩みを解消するためのヒントを掴んでいただくテーマ、ならびに企業が抱えるさまざまな経営リスクに対する対策を学ぶテーマを取りあげる。各部門の実務担当者を対象とした具体的なかつ詳細なセミナーを複数回にわたり開催する。

2-9 創造力開発セミナー

経営あるいは事業展開に求められる先見性や創造性といったヒューマンスキルを身につけることを目的に、アイデア発想、論理的思考といったテーマを設定。将来の経営を担う中堅社員を主な対象とし、実践的なトレーニングに力点を置いたセミナーを開催する。

2-10 経営実務 Web セミナー

経営管理の実務課題、マネジメントやマーケティングの手法、営業・販売の強化戦略、人材育成やリーダーシップといったテーマを取りあげ、動画を Web 配信して学びの場を提供する。

3 大会・フォーラム事業

世界的な経済環境の変化が激しい昨今、変化に即応した経営革新の促進やグローバルなビジネス環境の変化をとらえた経営が必要となる。そうした情報を得られる場として講演会を開催。異業種・異分野の多彩な企業、かつ規模の大小を問わずさまざまな企業が集うのは当協会ならではの特色である。その相互理解を促し、新たなビジネスのヒントを得ていただく。

3-1 経営セミナー

経営者・経営幹部を対象として開催する「経営セミナー」。複数名の講演者を迎え、成功や失敗などそれぞれの経験を通して培った原理原則などを共有いただくことで、事業活動におけるヒントを提供する。

3-2 工場長大会

工場長・工場幹部を対象として開催する「工場長大会」。講演者には独自の経験やノウハウを持つ工場長や製造部門長を招き、工場運営に関する要諦をさまざまな切り口から紹介いただくことで、自社における活動のヒントを得ていただく。

3-3 人材活性化フォーラム

企業は人なりと言われるように、業績向上と企業の持続的成長には社員のスキルとモチベーションが大きく関わっている。「人材活性化フォーラム」は、経営者ならびに人事責任者にとって大きな関心事である「人と組織の課題」をともに考える場として開催する。

3-4 第一線営業マン大会

すべての営業パーソンを対象として開催する「第一線営業マン大会」。優秀な営業マンに共通する考え方や行動ノウハウを知ること、自身の営業活動を見直し、改善するきっかけとしていただく。

3-5 現場リーダー大会

製造業の現場のリーダークラスを対象とした「現場リーダー大会」。チームづくりや人づくり、改善活動など、製造現場に必要とされる幅広いテーマについて、考え、行動につなげていただくための場として開催する。

新しい知識・情報を得るだけでなく、参加者相互の交流および連携の促進を図る研究活動を主体とした事業である。企業活動にあたって必要となるさまざまな経営課題、製造業では欠かせない生産技術や加工技術、また話題の新しい技術など、ユニークなテーマを設けた研究会を多数開催。中長期にわたり1つのテーマに沿って定例会合を開き、講義一辺倒ではなく、参加者間の意見交換や情報交流を盛り込んで相互研鑽を図る。

その他、実際に現場を見ることで工場の運営や現場の改善といったさまざまな問題解決のヒントを得ることができる国内工場の見学会、海外の状況や現地での工場運営について知見を得る海外視察研修も、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら開催する。

また、会員事業所間の有機的な連携と強調を促進するため、経営支援および会員交流に関わる事業を積極的に展開していく。

4-1 大阪府工業技術大学講座

後援／大阪府

1年間にわたる技術者育成研修。次代の技術力を担う若手・中堅技術者を対象に、機械系の工学基礎理論から応用技術知識までの修得、さらに高度な先端技術への理解を深めることを目的として、講義、実習、見学を行う。昭和36年以来毎年継続して開講しており、これまでに2,700名を超える修了生を送り出してきた。就業と研修の両立のため、講義は夜間に実施。大学の機械系学部に準じた基礎・専門科目をじっくり学ぶとともに、旋盤・溶接・CADなどの実技科目、実際のものづくり現場に触れる見学科目を組み合わせ、技術者としての総合力を養う。派遣企業のニーズに沿った科目・担当講師の見直しや、見学研修の訪問先再選定を行うなど、プログラムの充実を図り、第63期として実施する。(4月開講～翌年3月修了。計133日間)

〔講義研修〕 材料力学、金属材料、機械要素、製図、加工技術など24科目
(大阪公立大学大学院工学研究科の教授を中心に講師を招聘)
特別講義として、3Dプリンタ、工業デザイン、AI(人工知能)など6科目

〔実技研修〕 NC旋盤、油空圧、溶接、CADなど8コースを設定(選択制)
(ポリテクセンター関西・兵庫の実習施設にて実施)

〔見学研修〕 ダイキン工業㈱、㈱西島製作所、㈱東研サーモテックなど8社を訪問

4-2 新入社員教育講座

新入社員に社会人としての自覚を促すとともに、働くうえで必要な基本行動・知識を修得させる。総合基礎教育のほか、職種別の導入教育やビジネスマナー研修を実施。さらに、機械金属・プラスチックメーカーに的を絞った専門知識を修得できる研修、規律や礼儀を身につけさせる禅寺合宿研修など、多様なニーズに合わせたカリキュラムを提供する。

4-3 経営力強化研究会

変化の激しい時代には、自身の目と耳で的確な情報を収集することが欠かせない。そこで、新たな市場領域の開拓、異分野でのビジネスチャンスの獲得、あるいは生産システムの再構築など、事業の新展開につながるヒントを得るため、以下に挙げるようなさまざまな研究会を開催。個々の企業ではなかなか得られない情報に触れる機会を提供する。

「広報活動実践研究会」(新規)

中小企業のブランド力や認知度の向上は、社員の働きがいや採用力の強化につながる重要な戦略のひとつである。この研究会では、広報に携わる担当者を対象に、成功している企業の事例から、自社で取り組むヒントを得ていただき、多様な手法で自社の価値を伝える手法を考えていく。

「経営実践研究会」

経営に関する悩みは、人・もの・金それぞれ多岐にわたり、尽きることはない。この研究会では、若手経営者や後継経営者を対象に、毎回異なる切り口から自社の経営を見つめ直す機会を提供し、経営について実践的に考えていく。

「プロダクトデザイン研究会」

製品開発の現場において重要性を増しつつあるプロダクトデザイン。本研究会は製品設計・製品企画・開発部門の方を対象として、魅力ある製品デザインについて学ぶ場である。新製品開発などに活用できる工業デザインの基本や手法を、実例をもとに考えていく。

「RPA実践研究会」

既にRPA（パソコン上での定型作業の自動化）を導入し成果をあげている企業の具体的な導入プロセス、苦心した点、成功のポイント等について講演形式で学ぶことで、組織の生産性向上を実現させるRPA活用方法の習得を目指す。

「進化する次世代の工場 最新技術研究会」

ものづくりは今、世界的に大きな変革の時を迎えている。先進企業では、それぞれのニーズに合う一品一様の製品を大量生産と同等レベルの効率やコストで作る生産方式へと進化しつつあり、オンデマンド生産、パーソナライズ化、スマートファクトリー化などといったキーワードで語られている。これらのものづくりを可能とするのは、最新ロボット技術やFAシステム、デジタル機器などに代表される最新テクノロジーである。本研究会では、次世代の工場をテーマに、生産現場のIT化・IoT化、ロボット活用などの事例を紹介する。

「最新自動車テクノロジー研究会」

自動車業界の技術革新が部品メーカーを含めた産業全体へ及ぼす影響は非常に大きい。本研究会では電動化、シェアリング、先端素材技術による軽量化といった技術革新に関する最新の情報や、特色ある自動車の分析や、業界全体の動向などを提供する。

「AI（人工知能）研究会」

新たなサービスやビジネスの創出、製造現場の労働力確保、付加価値生産性の向上、熟練者の技能の継承といった、さまざまな課題に対し、AI（人工知能）実用化による解決に大きな期待が寄せられている。そこで、AIで何が変わり、何ができるのかを探り、工場はもとより企業全体でのAI活用に向けたヒントを提供するとともに、実際にAIを使った実習も行う。

「知的財産研究会」

企業における法務や知的財産担当者、研究・開発部門スタッフ、および弁護士・弁理士などの専門家を対象に全10回の研究会を開催。運営にあたっては大阪工業大学知的財産学部と連携し、これからの知財保護・活用戦略を掘り下げる。テーマは昨今関心の高い、コロナ後の知財戦略、DX（デジタルトランスフォーメーション）時代における知財活動などを幅広く取りあげる。

4-4 現場力強化研究会

日本が世界に誇れる分野であるものづくりをさらに磨きあげるには、現場の知恵と工夫による改善活動に注力しつつ、最新技術を追求する必要がある。ものづくり現場における環境の変化と革新に対応できるよう、ユニークかつ豊富な事例と実践知識を学ぶ場として研究会を開催する。

「製造部門人材育成研究会」(新規)

製造部門における人材の育成や定着は、どの企業においても共通の課題といえる。確固たる正解がないなかで、育成計画や教え方、モチベーション向上策などの取り組みを、具体的な事例をもとに多面的に学ぶことにより、現場の人材育成について考える場を提供する。

「品質検査効率化研究会」

製造現場に欠かせない品質検査。コストダウンや品質向上実現のためには、品質検査業務をより効率化することは必須と言える。本研究会では、検査の無駄の削減、さらなる生産性向上のための効率的な品質検査事例や、それを実現するための情報を提供する。

「工場経営研究会」

ものづくり企業の経営幹部・工場責任者が一堂に会し、ディスカッションや情報交換により相互研鑽を図る。企業規模や事業内容が違って、製造業の経営の一翼を担う者として共通する課題を取りあげ、全18回の研究会を開催。各回のテーマは、生産管理や改善手法など工場に不可欠な実務知識から、財務・法務問題、人事労務、人材育成まで幅広く網羅している。将来にわたって事業を継続させていくための先導者として、経営感覚を身につけるとともに、経営の視点から工場全体を統括・マネジメントできる力を高めていく。

「簡易自動化研究会」

お金をかけずに現場の知恵を結集し、手軽にでき、そして大きな効果を生む簡易自動化を取りあげた研究会を開催する。重力やてこの原理、ぜんまいや滑車などのからくり機構と、モータやセンサなどの制御機器を活用し、絶大な効果をあげた具体的な事例に触れ、工場の体質強化に役立てる。

「生産支援ロボット導入研究会」

危険作業や重労働の作業改善ツールとして、あるいは労働人口減少に対応するため、生産現場でのロボットの活用が年々増加している。AI搭載の協働ロボットやウェアラブルロボット、品質のばらつきをなくす検査ロボットなど、実際に活用している企業の事例を中心に、そのメリットや導入にあたって留意すべき点などを学ぶ。

4-5 新技術研究会

需要の変動に対応し、変種変量生産を機敏にこなす工場や、オンリーワン技術で強みを発揮する工場、海外生産拠点のマザー機能を発揮する工場など、国内生産で強い競争力を持つ工場はまだ数多く存在し、日本のものづくりの底力を体現している。こうしたメーカーの現場見学と技術講演を行い、独自のコンセプトを見る・聴く・学ぶことにより最新の技術動向を掴み、今後の経営や工場運営に役立つ情報を吸収する。(新型コロナウイルス感染状況により、実施形式や回数等を判断する)

4-6 展示商談会

会員事業所と大手メーカーとをつなぐマッチング事業として、会員事業所が持つ優れた技術や製品を直接アピールする「展示商談会」を2015年より開催。相手企業の敷地内に、出展企業の提案内容を掲示したブースを設け、来場する調達・技術担当者や関連サプライヤーへの販路開拓を支援する。

4-7 国内工場見学研修

異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者あるいは技術者の情報収集ニーズに応えていく。三現主義という言葉があるように、机上の論理ではなく、「現場」で「現物」を観察し「現実」を認識したうえで問題解決を図ることが重要である。とくに、ものづくりにおいては現場から学ぶことが多く、生産性の向上、製品の改良、新製品開発のヒントも現場でこそ見出すことができる。また、工場以外にも、研究機関や物流施設などその他の施設への訪問も企画していく。（新型コロナウイルス感染状況により、実施を判断する）

4-8 海外産業視察研修

日本企業の海外事業所や現地メーカーを訪問し、実際の姿を見聞、学ぶ機会を提供する。国外の経済情勢は刻々と変化しており、「百聞は一見に如かず」の言葉どおり、現地を訪れることには大きな意義がある。海外のものづくり現場の実地見学および現地法人責任者とのディスカッションを通して、マスメディアでは得られない活きた情報を掴む。（新型コロナウイルス感染状況などをふまえ、実施を判断する）

4-9 講師派遣・通信教育

所在地が遠方である等の理由により集合型への参加が難しい企業、また対象人数が多いため自社でのセミナー開催を望む企業に対し、講師を派遣する形での開催を受諾する。既存のプログラムにとどまらず、ニーズに合ったカリキュラムの編成から講師との調整までをサポート。また、セミナー参加以外の学びの形として、通信教育講座を開講し、会場外での学びを支援する。

4-10 オンデマンド研修講座

事前に録画した専門性の高い動画コンテンツを提供する研修。いつでも、どこからでも協会サイトにアクセスして研修動画を視聴することが可能であり、テーマを何度も見返し、繰り返し復習することもできる。セミナー受講が難しい環境や、すきま時間を活用して研修受講したい方などの多様な研修ニーズに応える。

4-11 機関誌商工振興刊行

大阪府商工労働部監修

会員事業所へのインタビュー記事や、専門家による解説記事、行政からの広報などを収録し、毎月1回発行。会員企業の情報を発信する誌面をつくることを目指し、「会員企業訪問」や「私が大切にしている言葉」「社長の Recommend」「関西企業ヒストリア」といった記事を掲載。また、顧客への手土産選定に役立つ「バイヤーおすすめ 季節のお菓子」や、部下やZ世代との接し方を問い直す「叱りの達人が説く、リーダーシップの極意」など、さまざまな観点から読みごたえのある内容で年間通しての連載記事も掲載する。

4-12 優良従業員表彰

会員事業所における従業員の勤労意識増進を図るため、昭和37年より毎年実施している「優良従業員表彰」。永年勤続かつ他の模範となる従業員として事業主から推薦を受けた者を選考し、会長名による表彰を行う。

4-13 経営者・経営幹部交流会

経営者や経営幹部の相互交流の場として、新春年賀交歓会やゴルフコンペなどを開催。肩ひじ張らない自由な雰囲気の中で、会員同士の相互理解、親睦を深める。また、若手経営者の交流・研鑽の場である「朝活」を開催する。

4-14 経営指導・情報提供

会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行うほか、従業員の自己啓発・自主活動に対しては、研修用DVD教材の貸し出し等により対応する。さらに、会員事業所を対象とした参加無料の講演会を開催し、時宜に応じたテーマを取りあげ、経営に役立つ情報を発信していく。